

第6回 宮城県・熊本県 国家戦略特別区域会議

宮城県提出資料

令和8年9月8日

概要

○半導体関連産業の基盤強化に資するりん青銅板・条の生産能力増強事業

国内唯一のりん青銅の専門メーカーである原田伸銅所において、りん青銅板・条の生産能力増強のための設備投資を実施

りん青銅について

りん青銅の薄物材は、半導体・電子機器・車載電装品等におけるコネクタ・端子・リードフレーム等を使用され、半導体関連産業のサプライチェーンを支える材料。他の銅合金部材（チタン銅・コルソン合金）に比べ加工性・コスト面で優位性を有している。

りん青銅生産上の課題

りん青銅の国内主要メーカーが生産終了を発表しており、今後様々なリスクが想定される。

- ・ 国内供給力の低下
- ・ 国内サプライチェーンの混乱
- ・ 海外材依存の高まり

薄物りん青銅の需要増

電子機器の小型化・薄型化等により、これらに使用される薄物材の需要は拡大傾向

原田伸銅所におけるりん青銅板・条の生産能力増強事業

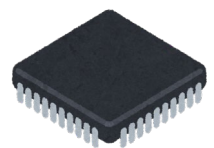
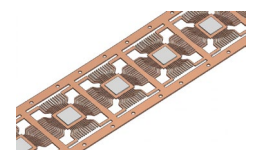
💡 県内企業への高性能・安価材料の安定供給

💡 高強度モデルの大量生産が可能に（厚さ0.06mm）

💡 更なる高性能材薄物材の技術開発が可能に

💡 りん青銅の国内供給体制を維持に貢献

HARADA



りん青銅板・条

リードフレーム等

ICチップ等

期待される効果

- ・ 県内企業への高性能・安価材料の安定供給を通じて、県内半導体関連産業の誘致・集積や県内企業の生産能力向上を促進し、宮城県における国際競争力のある産業拠点形成に寄与する。
- ・ 国内りん青銅の供給体制を維持することにより、国内サプライチェーンを安定化、経済安全保障上のリスク低減に寄与する。